

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 138 号 2009.10.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 木島平 稲刈り！

10月4日晴れ、関東近郊から集まった21名の有志が、長野県木島平の堀農園の稲刈りに参加しました。「自然農法の原理は本当に重要、誰一人として自然農法を無視することができない時代になっている」との心で、無施肥無農薬栽培の稲作に取り組む堀さんの田んぼ。参加者皆に、その堀さんの熱い心が伝わった貴重な1日となりました。



20代女性スタッフは「21名でどうなることかと思いましたが、皆さん能率よく、バインダーで刈った稲を、はさかけし、結果的に、もち米6枚とコシヒカリ1枚の田の稲刈りができました。堀さんも、来年もぜひ、と喜んでくださいました」と満足気。ある主婦は「倒伏している周囲の慣行農法の稲の姿を見てから、堀さんの倒れていない黄金に輝く稲を見て感動！6月の草取りにも参加して、生産者の大変さに、感謝とともに申し訳なさを感じました。今回、はさかけをお手伝いしたのですが、収穫した稲の茎はしっかりしていて、ずっしりと重かったです。とにかく一日気持ちよかったです。全然疲れなかったのが不思議でした」と笑顔で語ってくださいました。

60代男性は「6月の草取り、9月の見学会にも参加して、自分が除草した田の稔りを見て、とにかく感激した。またある方は「稲の茎にさわるとしっかりしていて、あたたかく、なんともいえない感触だった。帰ってきてからも身体がポカポカしていた」。30代男性は「6月から3回の除草に参加して、今回も参加できた。毎日されている堀さんは大変だとつくづく思う。やはり重点的に除草ができた所は結果が良かったし、自然12年目の所は1度草取りに入るくらいでよく、すごいと思った。みんなで稲刈りと、はさかけを楽しく笑いながらできた」と、充実した1日だったことを思わせます。



堀さんは「遠くから大勢の方に来ていただいて、とても有り難かった。ちょうど前日まで雨、この日だけが晴れて、次の日からは台風が来た。不思議だった。自分ひとりだと、朝から夕方まで作業しても4日くらいかかるところを、4時間で終わってしまい、皆さんの動きの良さにびっくりした。村の方も感心して様子を見ていた。本当に意味のある1日だった！」と痛く感動されていました。

今年も、今回の稲刈りとともに、6、7月には援農目的で、有志による除草を4回行うことができ、そのつど、自然農法のすばらしさと、生産者の熱い思いを学ぶことができました。来年も1回1回、自然農法普及に向けて、多くの参加者でお手伝いしたいと思います。(取材:編集部)

## 自然農法の作物は心強い味方

海老名市 黒川智恵子

今年3月21日、小学6年の長男が、高熱と激しい下痢で、食欲もなく寝込みました。度々トイレにこもるため、熟睡もできない状態でしたが、自然のお茶や、中島さんのリンゴを口にしながら、1日目はしのぎました。

次の日も同じような状態でしたが、自然米のおかゆ、サツマイモなど、少量ですが、食べられるようになり、少しずつ回復していきました。夜にはだいぶ食欲が出てきて、自然の小豆で作ったおしるこや、小松菜のおひたし、



ジャガイモの味噌汁など、食べられる種類と量も増えていき、3日目には平熱に下がり、ほぼ通常の生活ができるようになりました。

今回、3月17日の鎌ヶ谷頒布会で、自然の作物をたくさん購入したばかりだったので、すべて自然の食材で過ごすことができ、回復が早かったのだと思います。調理する側としても、自然の食材が手元にあることで、安心でし、とても頼りになる心強い味方だと感じました。我が家では、お茶以外は常時、自然の食材があるわけではないので、今回はちょうど鎌ヶ谷頒布会と時期も重なり、とても有り難く、親子共々感謝させていただきました。

長男は、その前後にあったサッカーの大事な試合や、学校の卒業式にも無事参加でき、4月からは、サッカーのクラブチームに所属して、ハードな練習にケガすることもなく、がんばっています。

## 自然農法を始めて、学んだこと！ 千葉県酒々井町 染谷泰也

以前は体調をくずすと、自然農法の野菜を買ったり、頂いたりしていましたが、今は、義父が自然の野菜を作ってくれているお陰で、それを食べ、健康にいただけています。

また、自分も少し畑を借りて作っています。自然農法に興味があったことと、農産展に出品したいために畑を借りました。小さな種から大きな作物になることに感動しました。新しく出た芽を雑草と間違えて取ってしまったり、土の天地返しが足りない分、全く作物が出来なかったりと、失敗の連続で、勉強不足を痛感しました。道具の使い方や種のまき方を教わり、気にかけて、手をかけたりすることによって、良い作物が出来ること、また種まきは笑いながら(楽しい気持ちで)するといいいことなど教わりました。お陰様で、今年の夏季農産展には、初めてインゲンとレタスを出品することができ、とてもうれしかったです。



自分自身、市販の食物を口にすると、咳きこんだり、むせてしまうのに、自然のものを頂いたときは、おいしく食べることができます。

今後も、農産展に良い作物を出展できるよう、努力していきたいです。



## お知らせ

自然農法頒布会 10月31日(土) 東中野会場 10:00~(売切れ次第終了)

10月8日、台風18号が日本列島に上陸したことは記憶に新しいと思いますが、自然農法の畑は奇跡的に被害を免れたという報告が、各地から入っています。そんな、台風にも負けない本物の作物たちが、皆様をお待ちしています！

自然農法頒布会 11月19日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00(売切れ次第終了)

自然農法勉強会 11月26日(木) 昼の部 10:30~ 夜の部 19:00~(別院講堂)

自然農法農産展 11月3日(祝) 展示 / 11月15日(日)販売



3日の展示日には、90名以上の方がそれぞれの想いで作られた、無施肥無農薬の野菜を出品されます。また、17名の方から、お米とともに出品いただいた稲藁を展示いたしますので、見て、触れてみてはいかがでしょうか。

15日の販売日には、大規模栽培の方はもちろん、各地から生産者が集い、それぞれ作物の販売を行います。中には、何年も自家採種で作り続けている貴重な作物もあります。そんな宝探しにぜひいらしてください。

また、15日には、生産者、消費者それぞれの想いを語り合える場として、「農産展交流サロン」を開催いたします。詳細は3日に展示会場でお知らせいたします！(農産展スタッフ 町田)

## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

11月3日 於:伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

きしま平自然農産:ニンジン、ダイコン、カブ、カキナ、納豆、きのこめし

市川生産グループ:煎茶、ほうじ茶

飯塚農園:みそ予約受付中です!

長柄山自然農園:卵

中島農園:ジャガイモ、ダイコン、ニンジン、チンゲンサイ、カブ、ネギ

ジョリフィーユ:かぼちゃのモンブラン、いちごのロールケーキ、カスタードプリン、マドレーヌ



お問い合わせ先:編集部 針貝 FAX:03-3369-3324 e-mail:naturefarming@torek.jp  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp